



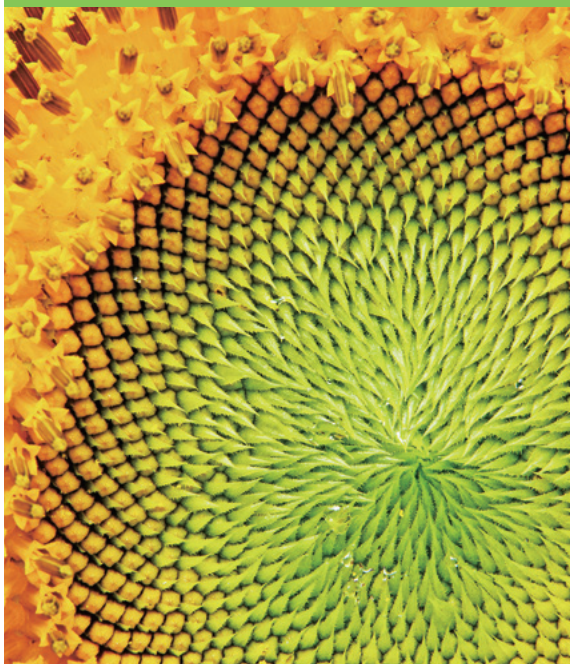
Color & Comfort

# 株主のみなさまへ

第125期 報告書(中間) 2022年1月1日～6月30日



**DIC株式会社**



## Color & Comfort

### 目次

- 株主のみなさまへ ..... 3
- 連結業績 ..... 4
- 長期経営計画「DIC Vision 2030」進捗状況 ..... 7
- 事業を通じたプラスチック資源循環への取組み ..... 8
- DIC企業ブランドCM「DIC岡里帆」  
シリーズ第3弾を放送中 ..... 9
- DIC川村記念美術館のご案内 ..... 9
- 会社概要・株主メモ ..... 10
- 株主総会資料の電子提供制度のご案内 ..... 11

# 株主のみなさまへ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、未永くご支援の程お願い申し上げます。

当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの出現、ロシアのウクライナ侵攻によるサプライチェーンの分断、地球的課題解決が要請されるグリーン社会の実現やデジタル社会への急速な移行といったこれまでに経験したことのない大きなパラダイムシフトに直面しております。

かかる背景から、当社は、社会課題を解決する企業としての存在感を一層高めるために、新たに経営ビジョンを見直したうえで2030年をターゲットにした長期経営計画「DIC Vision 2030」を策定しました。

「グリーン社会」「デジタル社会」「QOL社会」、これら3つの社会への貢献に向けて、5つの重点事業領域\*を中心に、事業ポートフォリオの変革と、カーボンニュートラル社会の実現に向けたサステナビリティ戦略を進めてまいります。

2022年6月30日をもって、当社第125期における第2四半期までの営業が終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

## 連結業績のご報告

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期比33.1%増の5,214億円でした。世界経済の不確実性の高まりを受けて、エネルギー、物流及び原料コストが高止まりするなか、全てのセグメントの幅広い製品において、継続的に価格対応に取り組んだ結果、大幅な増収となりました。また、カラー&ディスプレイセグメントにおいて、2021年6月に買収を完了した旧ドイツBASF社の顔料事業(以下「C&E顔料事業」)の売上が加わったことが増収幅を押し上げました。

営業利益は、前年同期比12.2%減の240億円でした。一部の製品や地域で出荷の停滞感が見られるなか、幅広い製品において価格は正に努めましたが、コスト増加分を十分カバーするには至らず、減益となりました。

経常利益は、前年同期比7.4%減の262億円でした。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比10.2%減の144億円でした。



## 通期の連結業績見通しと配当金

長期化するウクライナ情勢による資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱の影響を受け、エネルギー、物流及び原料コストは引き続き高い水準で推移する見通しです。

このような状況の下、当社はコストの増加に対し、各地域及び製品で価格対応に引き続き取り組むとともに、C&E顔料事業との更なるシナジー発現を推進することによって、増収増益を見込んでいます。

また、当期の配当につきましては、当社を取り巻く経営環境、今後の経営成績・財務状況などを総合的に勘案した結果、1株当たり50円の間配当を実施し、期末配当につきましても、1株あたり50円とすることを予定しております。当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様への利益還元をより充実させていくことを基本方針と考えております。また内部留保資金については、その充実にも努めるとともに、企業体質を一層強化することで株主の皆様への将来的な利益拡大に寄与すべく、より有効に使用して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
社長執行役員

猪野 薫

## 事業セグメント別業績の概況

### パッケージング & グラフィック

売上高は、前年同期比22.0%増の2,574億円でした。食品包装分野では、パッケージ用インキは各地域ともに価格対応を進めた結果、増収となりました。しかしながら出荷数量ベースで見ると、アジアではロックダウン解消後も出荷が停滞した中国の影響により前年を下回りました。商業印刷や新聞を主用途とする出版用インキについては、国内でまん延防止等重点措置の解除後もチラシやイベント関連印刷物の回復が限定的であったほか、米州や欧州で紙不足などを背景に需要が停滞したことから、それぞれの地域で出荷が落ち込みましたが、全地域で価格対応を積極的に進めたことにより、増収となりました。デジタル印刷で使用されるジェットインキは屋外広告（看板・ポスター）やバナーなどの産業用や商業印刷用が引き続き堅調に推移した結果、増収となりました。また、2022年1月に買取を完了したイタリアの接着剤メーカーSapici S.p.A.の売上が加わったことも増収要因となりました。

営業利益は、前年同期比26.9%減の77億円でした。各地域でエネルギー、物流及び原料コストの増加に対する価格対応に取り組みましたが、転嫁が追いつかず、全ての地域で減益となりました。この状況下、Sapici S.p.A.につきましても、買取後の統合作業が問題なく完了し、欧州での接着剤製品の拡販を進めたことで、利益を着実に上げました。

### カラー & ディスプレイ

売上高は、前年同期比126.2%増の1,339億円でした。C&E顔料事業が加わったことにより、塗料用、プラスチック用及び化粧品用顔料が特に大幅な増収となりました。こうしたなか、化粧品用顔料につきましては、海外での脱マスクの動きから需要の回復基調がより鮮明となり、出荷を伸ばしました。一方で、ディスプレイ用途であるカラーフィルタ用顔料は、パネルメーカーの生産調整によって出荷が落ち込んだ結果、減収となりました。光輝材を中心としたスペシャリティ用顔料は、農業用については引き続き堅調に推移しましたが、建材用発泡コンクリートで使用される建築用については、主な需要地である欧州で出荷が落ち込みました。

営業利益は、前年同期比11.0%増の78億円でした。カラーフィルタ用、スペシャリティ用などを中心に一部の高付加価値製品の出荷が落ち込みましたが、サーチャージ制の導入など引き続き積極的な価格対応を進めました。また、C&E顔料事業において、出荷遅延の解消によって販売が堅調に推移したことで、黒字となりました。これらの結果、全体として増益となりました。

### ファンクショナルプロダクツ

売上高は、前年同期比11.6%増の1,532億円でした。電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野については、半導体を主用途とするエポキシ樹脂は、海外では中国でのロックダウン解消後も出荷への影響が見られましたが、電子機器市場の旺盛な需要の取り込みと価格対応の進展により、増収となりました。また、スマートフォンなどのモバイル機器を主用途とする工業用テープにつきましても、需要の着実な取り込みにより、増収となりました。モビリティ（自動車）を中心とするインダストリアル分野については、半導体不足や物流の混乱を背景とした自動車減産の影響が出荷に影響しましたが、それぞれ価格対応を進めた結果、PPSコンパウンドを除く主要製品がいずれも増収となりました。PPSコンパウンドにつきましては、価格対応を進めたものの、国内及び海外で出荷数量が落ち込んだ結果、ほぼ前年同期並となりました。

営業利益は、前年同期比5.5%減の133億円でした。自動車向け材料を中心とした出荷数量の落ち込みも見られるなか、各製品において、エネルギー、物流及び原料コストの増加に対する価格対応を進めたものの、転嫁が追いつかず、減益となりました。



Packaging & Graphic



Color & Display



Functional Products

## 子会社及び関連会社

### パッケージング&グラフィック 114社

DICグラフィックス株式会社 (東京都)  
Sun Chemical Group Coöperatief U.A. (オランダ)  
PT. DIC Graphics (インドネシア)  
南通迪愛生色料有限公司 (中国)  
DIC India Limited (インド)  
DIC (MALAYSIA) SDN. BHD. (マレーシア)  
DIC Graphics (Thailand) Co., Ltd. (タイ)  
他107社

### カラー & ディスプレイ 28社

Colors & Effects USA LLC (アメリカ)  
Sun Chemical Colors & Effects GmbH (ドイツ)  
青島迪愛生精細化学有限公司 (中国)  
Earthrise Nutritional LLC (アメリカ)  
他24社

### ファンクショナルプロダクツ 39社

星光PMC株式会社 (東京都)  
DICデコール株式会社 (埼玉県)  
DICEP株式会社 (千葉県)  
DICプラスチック株式会社 (埼玉県)  
DICマテリアル株式会社 (東京都)  
Siam Chemical Industry Co., Ltd. (タイ)  
張家港迪愛生化工有限公司 (中国)  
常州華日新材有限公司 (中国)  
立大化工股份有限公司 (台湾)  
迪愛生合成樹脂 (中山) 有限公司 (中国)  
他29社

### その他 9社

迪愛生投資有限公司 (中国)  
DIC Asia Pacific Pte Ltd (シンガポール)  
他7社

## セグメント情報

### 売上高

(単位: 億円)

	2021年度 2Q実績 (累計)	2022年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
パッケージング&グラフィック	2,110	2,574	+ 22.0%
カラー & ディスプレイ	592	1,339	+126.2%
ファンクショナルプロダクツ	1,374	1,532	+ 11.6%
その他、全社・消去	△ 158	△ 231	—
連 結 合 計	3,918	5,214	+ 33.1%

### 営業利益

(単位: 億円)

	2021年度 2Q実績 (累計)	2022年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
パッケージング&グラフィック	105	77	△ 26.9%
カラー & ディスプレイ	70	78	+ 11.0%
ファンクショナルプロダクツ	141	133	△ 5.5%
その他、全社・消去	△ 43	△ 48	—
連 結 合 計	273	240	△ 12.2%

## 連結財務諸表等

### 連結貸借対照表 (要約)

2022年6月30日現在

(単位:億円)

科 目	金 額
流動資産	7,193
有形固定資産	3,512
無形固定資産	631
投資その他の資産	1,758
<b>資産合計</b>	<b>13,094</b>
流動負債	3,943
固定負債	4,736
<b>負債合計</b>	<b>8,678</b>
株主資本	4,133
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 65 (3)
非支配株主持分	348
<b>純資産合計</b>	<b>4,416</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,094</b>

### 連結損益計算書 (要約)

2022年1月1日～2022年6月30日まで

(単位:億円)

科 目	金 額
<b>売上高</b>	<b>5,214</b>
売上原価	△ 4,154
販売費及び一般管理費	△ 820
<b>営業利益</b>	<b>240</b>
金融収支	△ 9
持分法投資損益	10
為替差損益	21
その他	0
<b>経常利益</b>	<b>262</b>
特別利益	13
特別損失	△ 35
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>240</b>
法人税等	△ 88
四半期純利益	151
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 7
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>144</b>

### 連結キャッシュフロー計算書 (要約)

2022年1月1日～2022年6月30日まで

(単位:億円)

科 目	金 額
営業キャッシュ・フロー	△ 248
投資キャッシュ・フロー	△ 331
フリーキャッシュ・フロー	△ 579
財務キャッシュ・フロー	1,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	130
現金及び現金同等物の増減額	613
現金及び現金同等物の期首残高	376
現金及び現金同等物の期末残高	988

## 事業ポートフォリオの変革とサステナビリティ戦略を推進

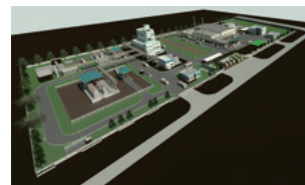
2022年度から開始した長期経営計画「DIC Vision 2030」で当社は、2つの基本戦略「事業ポートフォリオの変革」と「サステナビリティ戦略」を軸に、製品・地域の補完を目的としたM&A・拠点拡大や社会課題解決に貢献する新製品の市場展開・拡販に取り組んでいます。

### 1 インドIdeal社でコーティング用樹脂の新工場を建設

当社のインド子会社であるIdeal Chemi Plast Pvt. Ltd. (以下「Ideal社」) は、インド市場でのコーティング用樹脂の需要拡大に伴い、同樹脂の生産能力を拡大するため、新工場の建設を開始しました。

当社は高成長が見込まれるインドの需要を取り込むべく、2019年4月にIdeal社を買収し、当社のハイエンド製品に対応した樹脂開発力と、Idealの販売チャネル、顧客ベース、インド特有のニーズの把握といったノウハウとサプライチェーンの統合を進めることで、短期間でインド市場でのポジションを高める戦略を進めてきました。

Ideal社の新工場は、2023年7月からの稼働開始を予定しています。これによりIdeal社の生産能力が現行の3倍に拡大し、アジアパシフィック地区のポリマ技術センター(タイ)で開発した環境対応製品やグローバル展開製品の生産も、新工場の釜設備により、インドでの生産が可能となります。環境面では、排水は全て工場内で処理し、クリーンな工業用水として再利用するZero Liquid Dischargeシステムを採用、またクリーンな天然ガスの採用や省エネルギー製造設備の導入により、環境・安全に配慮した工場運営とCO<sub>2</sub>排出削減を目指します。



Ideal社新工場の完成予想図

### 2 リサイクルに適したモノマテリアル(単一素材) 包装材料に対応した製品ラインアップを拡充

当社は、リサイクルに適したモノマテリアル(単一素材) 包装材料に対応したインキやコート材、接着剤、特殊シーラントフィルムなどの製品ラインアップを2022年4月1日より拡充しました。

2022年4月1日より、国内で「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。同法は製品の設計から廃棄物の処理まで、プラスチックの商流全てにおける資源の循環などの取組を促進するための法律です。同法の施行により、プラスチック使用製品の製造事業者は製品構造や材料についても資源循環を意識した対応が求められるため、今後益々モノマテリアル包材の需要拡大が見込まれます。

当社は、包装材料のサステナブル化を最重要のテーマに置き、リサイクル適性の向上に資するモノマテリアル化に対応した素材の拡充に注力してきました。その結果、最も重要な課題である「保香性」と「耐熱性」の機能保持について、当社独自の技術ソリューションにより新たに6製品を開発し、製品ラインアップを21製品まで拡充しました。当社は、パッケージ材料に関わる全ての素材を保有する唯一のサプライヤーとして、お客様にワンストップでの製品提供を行ってまいります。

#### ラミネート構成の包装材料



製品	特性	製品数
耐熱コーティング剤	シール時の収縮防止	2種(開発品含)
印刷フィルム	オレフィン系フィルム	-
酸素バリアコーティング剤	酸素バリア性、保香性付与	4種(開発品含)
グラビインキ	意匠性、UVカット性	2種
酸素バリア接着剤	酸素バリア性、保香性付与	4種(開発品含)
特殊ポリオレフィンフィルム	低温シール性、低吸着性	2種

# 事業を通じたプラスチック資源循環への取組み

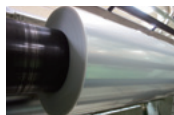
## ～独自技術とソリューション展開を駆使し、サーキュラーエコノミーを実現～

当社は、持続可能な社会を実現するための重要施策「サーキュラーエコノミー」に対応するため、事業を通じたプラスチック循環に寄与する製品化の取組みを強化しています。非化石由来やリサイクル材の使用拡大、廃棄物の再資源化、資源循環に資するイノベーションの推進を既に始動し、新たな需要を創造する取組みとして業界との連携を通じ、「サーキュラーエコノミー」を実現するソリューション展開にも注力しています。

また、当社が培ってきた分散・高分子技術などの既存の基盤技術だけではなく、新たに無機材料とバイオテクノロジーの2つの要素技術を導入し、オープンイノベーションを駆使しながら社会要請に対しアジャイル（機敏）な取組みで製品化を進めています。こうした新製品開発の取組みや資源循環に資する製品の紹介は、講演会、当社ウェブサイトを通じて積極的に発信しております。



代表取締役副社長の玉木による講演  
(サステナブルマテリアル展 関西2022にて)



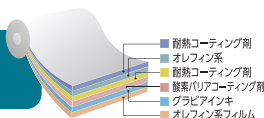
イージーピールフィルムは、密封性と開封性を両立することが可能。食品ロス削減、包装材の減量化、利便性に寄与しています。



独自技術の無溶剤接着剤と製造システム DUALAM™は、生産工程のエネルギー削減と原材料の削減、マーケット拡大に貢献します。



ポリスチレンの完全循環型リサイクルを目指し、ケミカルリサイクルの実証プラントの稼働と生産プラントの本格稼働を計画。(株)エフピコ様と協力して取り組んでいます。



機能性を保ちつつ、リサイクルし易い素材で構成されたモノマテリアル包装材料を普及させ、プラスチック廃棄物の再資源化の実現に一翼を担っていきます。



独自ポリマ技術によるバイオ由来ポリアスバラギン酸を開発。紙オムツのごみ問題に対して、紙オムツに使用される高吸水性ポリマのバイオマス化と生分解性発現材料としての応用が期待されています。



# DIC企業ブランドCM「DIC岡里帆」シリーズ第3弾を放送中

当社は企業ブランド価値向上を目的として、吉岡里帆さんが出演する企業ブランド広告「化学愛で、人を救えるか。DIC 岡里帆 (ディーアイシーおか・りほ)」シリーズ第3弾を放送しています。



3種類のCMでは、バイオマス樹脂群、工業用両面テープ#8800CH、防災用ヘルメットIZANOの3つの製品の魅力をそれぞれご紹介。

## DIC岡里帆の研究室

特設ウェブサイト「DIC岡里帆の研究室」では、「DIC岡里帆」さんと当社社員による、よくわかる技術解説と製品開発ストーリーとして前作を含む6つの記事がご覧いただけます。下記のQRコードよりぜひご覧ください。

<https://www.dic-global.com/ja/dic-oka/>



QRコード ▶



<番組提供情報> 番組名: テレビ朝日系列「サンデーLIVE!!」 放送日時: 毎週日曜日 5:50~8:30 (2022年8月現在)

## DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連会社とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、コレクションと関連性のある作家やその時代を取り上げながら、コレクションへの理解を深めるための企画展を年に数回開催しています。

### 美術館の展示情報

次回の企画展 マン・レイのオブジェ 日々是好物 | いとしきものたち

2022年10月8日(土) - 2023年1月15日(日)

マン・レイ(1890-1976)が「我が愛しのオブジェ」と称したオブジェ作品に注目し、国内所蔵のオブジェ約50点を軸として、関連作品や資料など約150点をご紹介します。

コレクションHighlight ジョゼフ・コーネル — 新収蔵品を迎えて —

2022年9月13日(火) - 2023年1月15日(日)

ジョゼフ・コーネル(1903-1972)のコラージュ1点の新収蔵を機に、当館のコーネル作品全17点を公開いたします。



マン・レイ  
《ニューヨーク 17》1917/66年  
DIC川村記念美術館

開館時間: 9:30~17:00 (最終入館16:30)

休館日: 月曜日 ※祝日の場合は開館し、翌平日に休館、年末年始、展示替期間の臨時休館

所在地: 千葉県佐倉市坂戸631

交通: ・お車で→東関東自動車道「佐倉IC」から約5km、無料駐車場300台完備  
・電車+送迎バスで→JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス(JR佐倉駅→約20分/京成佐倉駅→約30分) 予約不要  
・高速バスで→東京駅八重洲北口の京成バス3番乗り場から1日1往復運行、片道約60分(2022.7.30現在)

お問い合わせ: 展覧会の詳細など、最新情報はウェブサイトでお知らせしています。

URL: <https://kawamura-museum.dic.co.jp> TEL: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

QRコードからの  
アクセスはこちら



# 会社概要・株主メモ

## ■ 会社概要

— 2022年6月30日現在 —

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本社	〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日 (1908年)
設立	昭和12年3月15日 (1937年)
従業員数	連結22,509名 < 単体3,728名 >
株式の状況	発行する株式の総数 150,000,000株 発行済株式の総数 95,156,904株 株主数 43,613名 1単元の株式の数 100株

## ■ 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
中間配当受領 株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 042-204-0303 (通話料有料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) URL <a href="https://www.dic-global.com/">https://www.dic-global.com/</a>
株主優待制度	

### ■ 株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。

#### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

#### <主な支払調書>

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

#### マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先

- ・証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社に問い合わせください。
- ・証券会社とお取引がない株主様  
左記に記載の三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部にお問い合わせください。

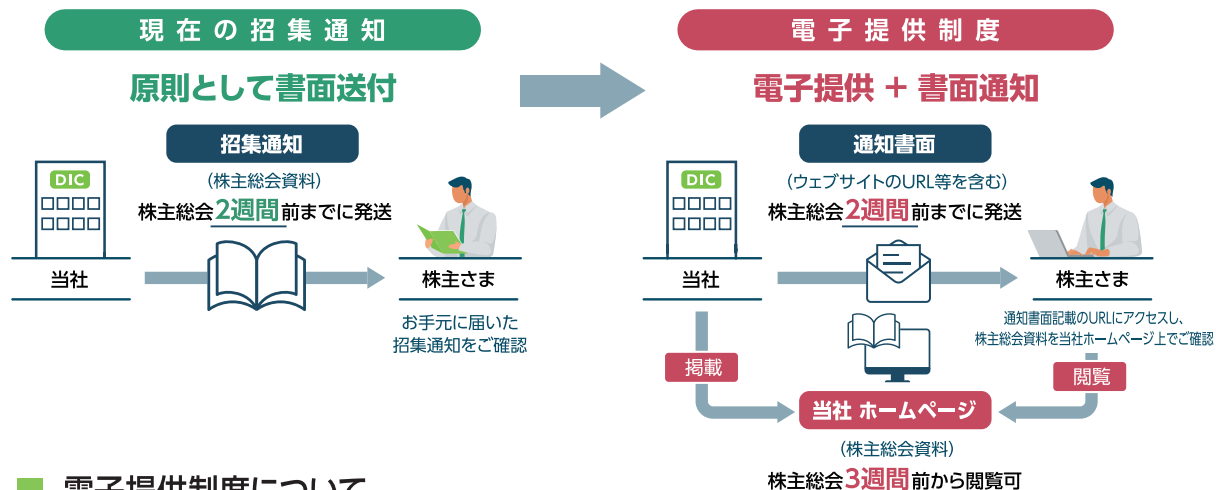
保有株式数*	優待内容	基準日*
100株以上	DICオリジナルカレンダー1部	6月30日
	DIC川村記念美術館入館券付絵葉書2枚 (2人/枚)	12月31日
	DICグループ製品	

※「基準日」現在に株主名簿に記載または記録された「保有株式数」の株式を保有する株主様に一律贈呈します。

## 【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社など) にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いします。

# 株主総会資料の電子提供制度のご案内



## ■ 電子提供制度について

株主総会資料の電子提供制度（以下「電子提供制度」といいます）とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主の皆様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主総会資料を提供することができる制度です。

「会社法の一部を改正する法律」の規定が2022年9月1日に施行され、上場会社に対して強制適用されたことから、当社では、来年の株主総会から電子提供制度が適用されることとなります。今年の株主総会では電子提供制度の導入に備えるため、当社定款の変更に関する議案につき、株主の皆様にご承認いただきました。

電子提供制度では、株主の皆様のお手元にはこれまでお送りしていた「定時株主総会招集ご通知」の一部のみをお届けし、全体についてはウェブサイトへアクセスしてご確認いただくこととなります。

## ■ 書面交付請求について

電子提供制度の導入後も書面による株主総会資料を希望される株主様につきましては、事前に書面交付請求のお手続きが必要となります。

お手続きの方法につきましては、三菱UFJ信託銀行（株主名簿管理人）へお問い合わせください。なお、証券会社を通じてお取引の株主様は当該証券会社へお問い合わせください。

## 電子提供制度・書面交付請求に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部      電子提供制度専用ダイヤル   0120-696-505  
(受付時間: 土・日・祝日等を除く 平日 9:00～17:00)   <https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



受付期限は、株主総会の基準日までです。来年の株主総会資料を書面で受領したい株主様は、三菱UFJ信託銀行にお申し出の場合は2022年12月30日までに、証券会社にお申し出の場合は当該証券会社の2022年12月最終営業日までにお手続きください。

なお、書面交付請求の対象は、100株（単元株式）以上を保有されている株主様です。100株未満の株主様はお手続きいただくことができません。また、議決権行使書はこれまで通り書面でお送りいたしますので、書面交付請求をお手続きいただく必要はございません。

<https://www.dic-global.com/>

本冊子のデザインはユニバーサルデザインフォントを使用し、  
印刷には VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの環境にやさしい  
DIC グラフィックス株式会社の100%植物油型インキ「**ナチュラルリス100**」を使用しています。



Color & Comfort